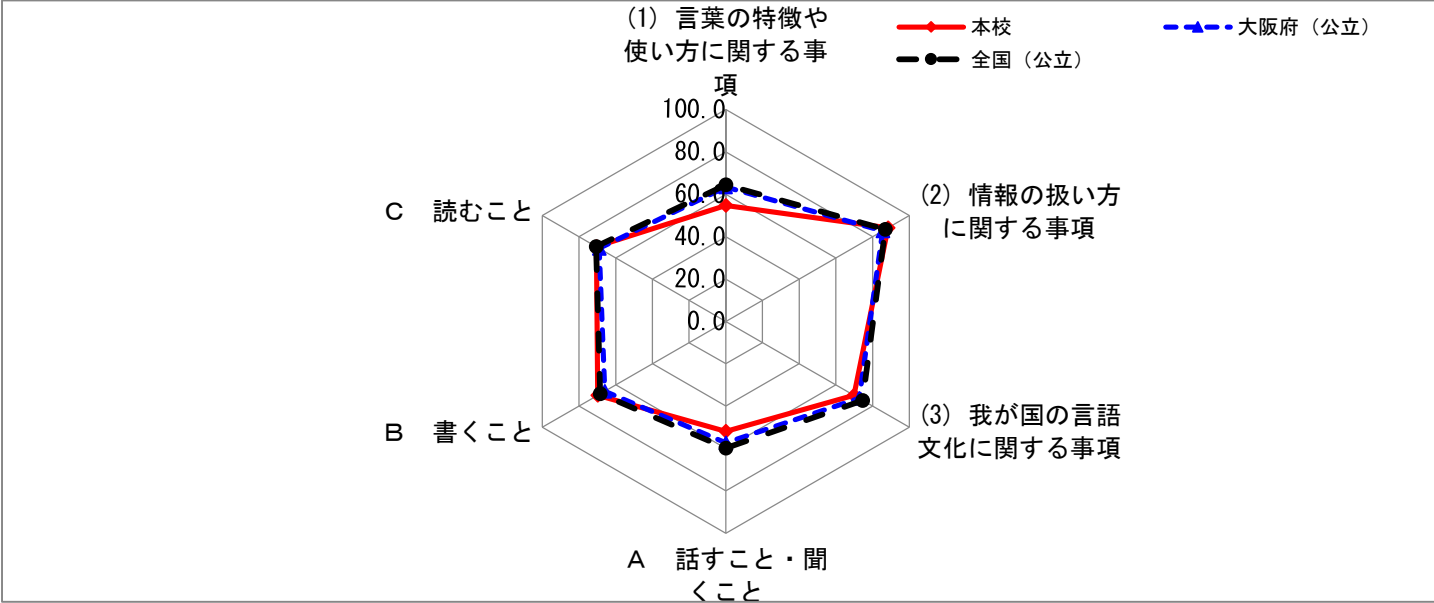
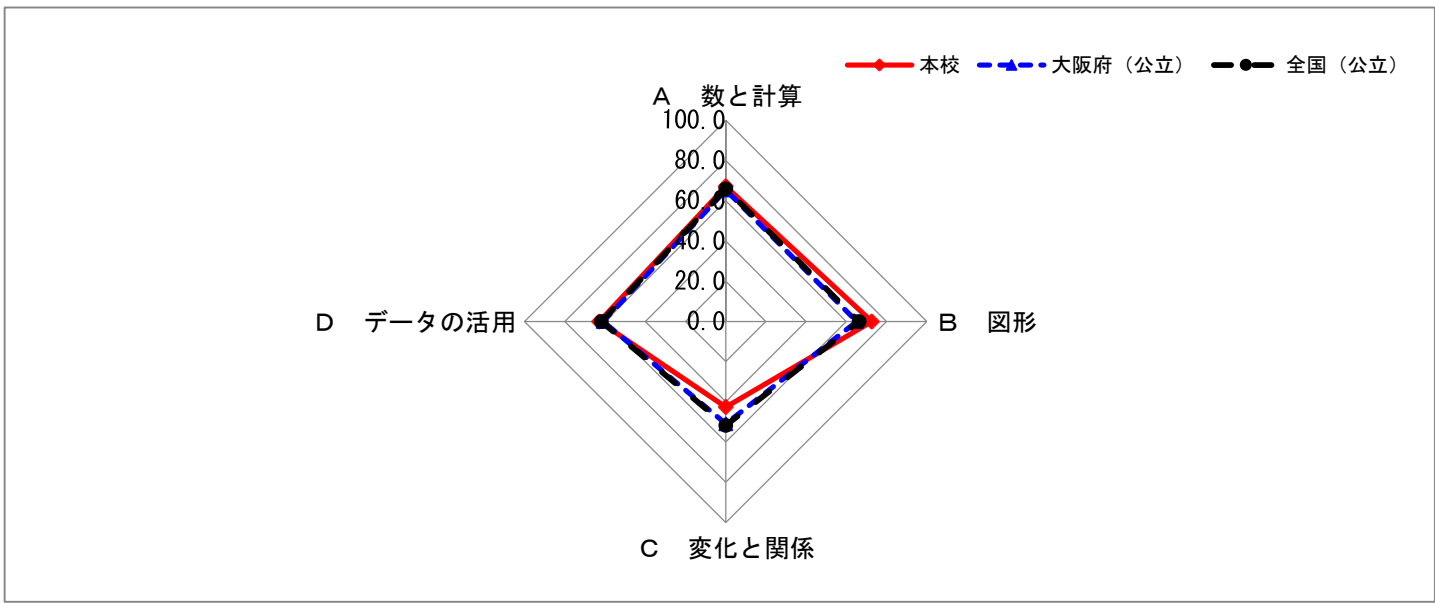


調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【国語】			【算数】		
					
全体的な状況 平均点は大阪府及び全国をやや下回っています。観点別では、「情報の取り扱いに関する事項」が全国及び大阪府の平均値を上回っており、良好です。技能面では「書くこと」で全国及び大阪府の平均値を上回っております。しかしながら、「話すこと聞くこと」については、全国及び大阪府の平均を下回っている状況です。			全体的な状況 平均点は全国及び大阪府を上回っています。領域別では「変化と関係」以外で大阪府の平均値を上回り良好です。知識・技能面の正答率が高く、全国及び大阪府を大きく上回っています。		
課題 オンライン交流する場面において、相手にわかりやすく話す際の工夫につて課題が見られました。相手に話をする時はできるだけ短いセンテンスで、話の順序を考えて内容が伝わるようにしないといけないことに気付けていない児童が一定数見られました。			課題 自転車から郵便ポストまでに分速200M、郵便ポストから図書館まで分速200Mで走った場合において、家から図書館までの速さを求める問題に課題がありました。正答は分速200Mですが、分速400Mと回答する児童が一定数おり、速さの意味についての理解が不十分でした。		
成果 メモの書き表し方の説明について、適切なものを選択する問題で成果がみられました。特に情報と情報の関係付けの仕方について理解が深まっています。これは、本校が特に高学年で大切な事柄を聞き漏らさないようにメモをとるということを継続的に指導してきた成果だと考えられます。			成果 円柱の展開図において、側面の長方形の横の長さを求める問題で成果が見られました。この問題については、全国平均を10ポイント上回るなど、良好でした。ICTを活用することで立体が展開される様子を視覚的にも分かりやすく学習できるようになったことが成果の要因であると考えられます。		
課題解決に向けた取組み 日常の会話では、話しぶりや前後の内容の関係で単語の羅列でも文意が伝わる 경우가多くあります。しかし、相手に確実に内容を伝えるには、スピーチやプレゼンテーションなど、あらかじめ話す順番や内容を吟味して話をする活動や体験を多くの学習場面で取り入れる必要があると考えられます。			課題解決に向けた取組み 速さの学習については、日常の具体的な場面に対応させながら、理解が必要があると考えられます。例えば、家から学校でに係る時間についても、道のり(距離)と対応させることにより、体感としての速さを想起できるようになる必要があります。		

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目				課題を残した主な項目			
本校	府	全国		本校	府	全国	
自分には、よいところがあると思いますか	89	84	84	まったく新聞を読まない	88	80	76
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	98	91	90	自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	64	79	81
将来の夢や目標を持っていますか	89	82	82	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	64	73	76
全体的な状況 昨年度と同様に「朝食を毎日とる」「毎日決まった時間に寝起きする」など、基本的な生活習慣が身についてきています。また、「自分にはよいところがある」と考えている児童が大阪府及び全国より多く見られ、「将来に夢や目標を持っている」と回答した児童も多く見られました。				課題 「まったく新聞を読まない」と回答する児童の割合が大阪府及び全国よりも多くなっており、日常生活における活字離れの状況が伺えます。また、自分で学び方を考えたり、自分と違う意見について考えたりする項目に課題があります。			
成果 子どもたちの自己肯定感是比较的高く、子どもたちのがんばりを認める普段からの肯定的な声かけが、周囲の人への優しさ、気遣いへとつながっているとと言えます。今後も、ご家庭と学校が一緒になって子どもたちの成長を支えていくことができればと考えています。				課題解決に向けた取組み 本校では、子どもたちが主体的に学習課題に取組み、対話的な学びを通して深い学びを実現できるよう、日々、授業研究を重ねております。今後は今回の調査結果を受け、外部講師を招聘するなど、子どもたちの課題に沿った授業改善を進めていきたいと考えております。			

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

- ・学校では、互いの意見・考えを尊重し合い、理解を深める機会を各教科の中で取り入れるようにしています。
- ・また、異なる考えを出し合い意見を交わすことを通してよりよい解決策を導き出す機会をより多く設け、自ら進んで諸問題を解決していこうとする力の育成を大切にしていきたいと考えております。
- ・ICT機器に触れる機会が増えた今、使用する上でのルール作りと継続的な見守りが必要だと感じています。スマホやタブレットの使用時間が1日あたり4時間を超えている現状は改める必要があると強く感じます。タブレットやスマホが利便性と危険性を併せ持つという認識を改めて持ち、ご家庭と一緒に頑張って取り組んで参りたいと考えていますので、ご協力お願いいたします。